

海業振興に関連する報告

20240621 株式会社キットブルー代表取締役 大塚英治

自己紹介

大塚 英治 オオツカ エイジ

北海道生まれ 神恵内村在住

株式会社 キットブルー 代表取締役

株式会社沿海調査エンジニアリング 代表取締役社長
有限会社 北海屋大塚商店 代表取締役
東海大学 非常勤講師
NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 副代表理事
株式会社ジェイアール東日本企画 地域プロデューサー
一般社団法人 小樽観光協会 理事
泊村観光協会 理事



Lifework・・・海のあるハッピーなマチづくり

令和6年度水産基盤整備調査委託事業 「漁港釣り施設、**釣り教育施設**に関する調査」

【事業の目的】 ※一部抜粋

特に、釣り（遊漁）関連施設の設置・運営は、海業の推進において中核的な取組となりえる。しかしながら、釣り関連施設の運営には採算性を考慮した事業としてあるべきだが、そのノウハウが地域や施設ごとで独特であり、**釣り施設の導入を検討したい地域においても一歩踏み出しづらい状況**になっていると考えられる。

また、「**子供釣り場**」は、**青少年の健全育成や教育的効果等、海業としての波及効果、相乗効果は高い**と考えられるが、子供を安全に受けいれられるルール・マナー等の普及や環境が体系的に整備されているわけではなく、具体的な**プログラムや施設運営には検討すべき課題が多い**。

本調査は、**海業として高いポテンシャルを有する釣りを今後海業の中核的な取組として推進していく**ために、施設運営のノウハウ等を体系化し、教育に活用するための情報収集や各地区における実現可能性の検討等を行い、釣り施設・教育施設（子供釣り場）の設置・運営に関する参考資料案としてとりまとめ、漁港における釣り（遊漁）に関する海業の取組促進に寄与することを目的とする。

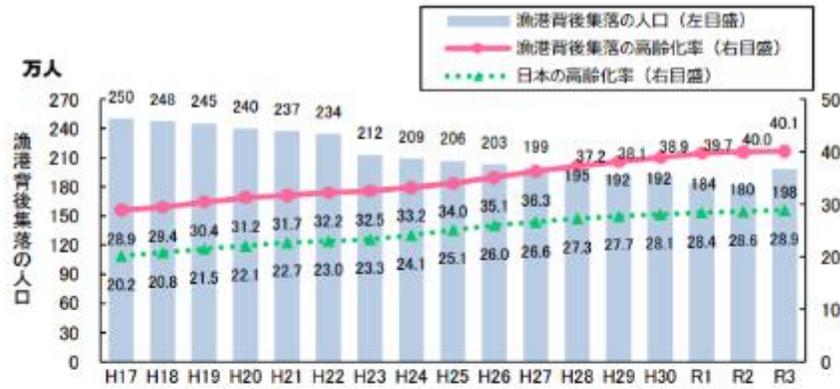
海業の推進について

- 漁村では、全国平均を上回る速さで人口減少や高齢化が進行し、活力が低下。
一方、漁村の交流人口は約2千万人と大きなポテンシャルを有しており、漁村の賑わいの創出が重要。
- 豊かな自然や漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした海業（うみぎょう）※の推進により、地域の所得向上と雇用機会の確保を図ることが必要。

※海業（うみぎょう）：漁村の人々が、海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用して所得機会の増大等を図る取組

■ 漁村の交流人口及び交流施設の設置状況の推移

	H28	H29	H30	R1	R2
交流人口（千人）	19,752	19,854	20,024	20,222	18,558
水産直売所等の交流施設（箇所）	1,421	1,371	1,390	1,451	1,490



資料：漁港背後集落の人口推移と高齢化率は水産庁調べ、全国の高齢化率は総務省「人口推計」（国勢調査実施年は国勢調査人口による）
 (注1)高齢化率とは、各区分ごとの総人口に占める65歳以上の人口の割合。
 (注2)平成23（2011）～令和2（2020）年の漁港背後集落の人口及び高齢化率は、岩手、宮城及び福島の3県を除く集計。



■ 海業の場として漁港を活用



水産物販売施設



岸壁前に立地するレストラン



漁業体験



漁村の魅力を活かした宿泊（渚泊）



水域を活用した増養殖



陸上養殖施設

漁港における海業の推進の基本的な考え方

- 漁港は、狭隘な漁村において静穏な水域と事業用地が確保され、海洋資源の利活用を行いやすく、海業の展開に適している。
- 令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画においても、漁港を海業に利活用するための仕組みを検討していくことを明記。

水産基本計画 【令和4年3月25日閣議決定】

○海業等の振興

漁村の人口減少や高齢化など地域の活力が低下する中で、地域の理解と協力の下、**地域資源と既存の漁港施設を最大限に活用した海業等の取組**を一層推進することで、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用した取組を根付かせて水産業と相互に補完し合う産業を育成し、地域の所得と雇用機会の確保を図る。このため、地域の漁業実態に合わせ、**漁港施設の再編・整理、漁港用地の整序**により、**漁港を海業等に利活用しやすい環境を整備**する。

○民間活力の導入

海業等の推進に当たり、**民間事業者の資金や創意工夫**を活かして新たな事業活動が発展・集積するよう、漁港において**長期安定的な事業運営を可能とするため、漁港施設・用地及び水域の利活用に関する新たな仕組みの検討**を進める。

漁港漁場整備長期計画 【令和4年3月25日閣議決定】

○「海業」による漁村の活性化

地域の漁業実態に即した施設規模の適正化と漁港施設、用地の再編・整序による漁港の利活用環境の改善を行い、地域の理解と協力のもと、漁港と地域資源を最大限に活かした**増養殖、水産物の販売や漁業体験の受入れなど海業等の振興**を図る。また、防災施設、防犯安全施設等、漁業者や民間事業者の事業活動に必要な施設整備を実施するとともに、**漁港における海業等の関連産業を集積させていくための仕組みづくり**を進める。あわせて、漁港における釣りやプレジャーボート等の適正利用に当たっては、駐車場等の受入環境の整備や関係団体との連携によるマナー向上やルールづくり等を進める。

海業の推進に向けた漁港の利活用イメージ

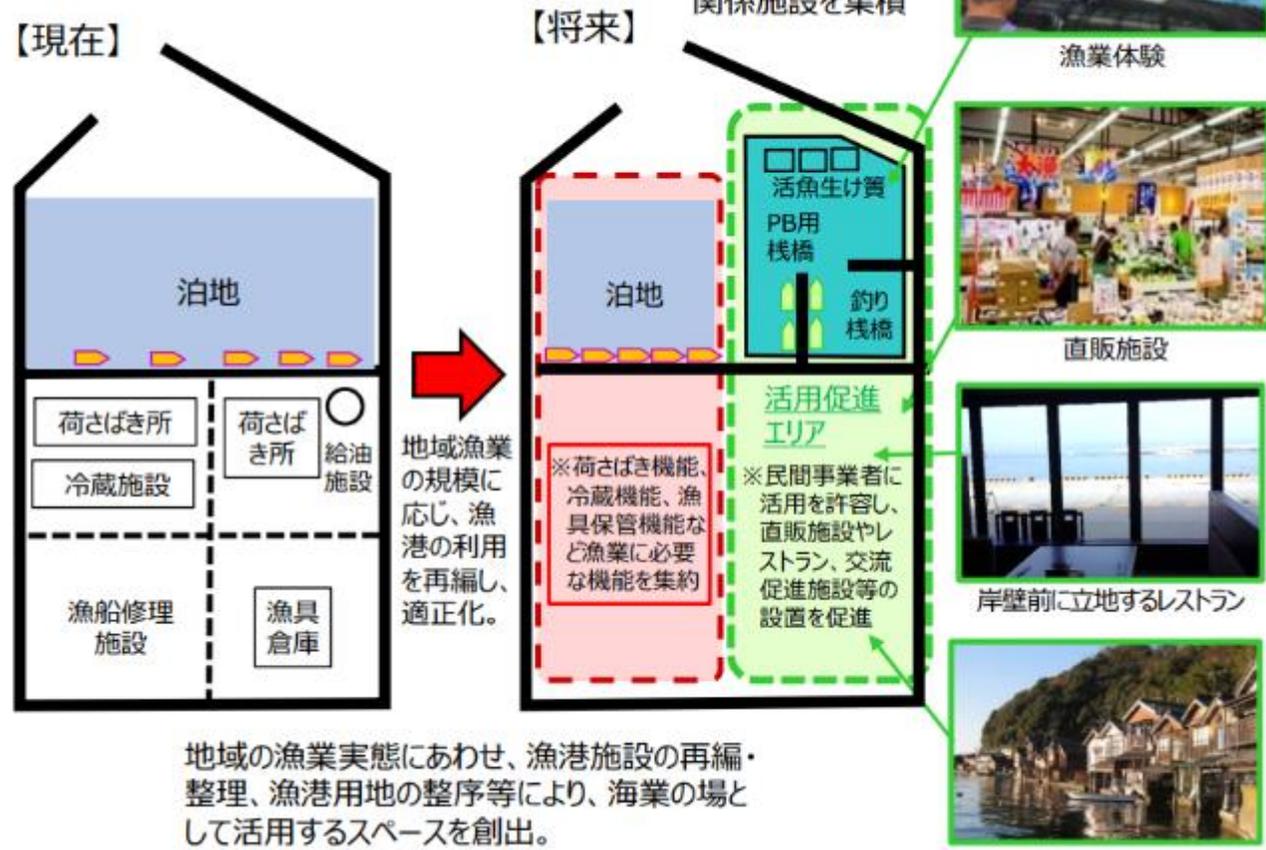
- 地域漁業の規模にあわせて水産業に必要な機能を集約し、施設規模の適正化と漁港施設の再編・整理を実施。
- 地域の理解と協力の下、水産物の消費増進や交流促進など、地域の水産業を活性化する取組を促進。

■ 漁港を利用した海業展開に関する都道府県への意向調査結果（令和2年9月）

期待する活用の内容	具体的な内容	漁港数
消費増進・交流促進施設	・水産食堂、直売所等 ・漁業体験施設 ・遊漁施設 ・宿泊施設等 ・体験型イベント	277
増養殖		246
うち水域	・ナマコ養殖、ウニ・海藻の複合養殖 ・海藻バンクとしての活用	167
うち陸域	・ワラの陸上養殖エリアとして貸出 ・種苗生産等に係る施設 ・クロマグロ完全養殖施設	79
PB受入れ	・プレジャーボートの係留施設、収容施設 ・ビジターバス	97
水産加工	・水産加工場 ・海苔の共同乾燥施設	44
漁業用利用	・漁具保管施設 ・陸揚用浮桟橋を設置	11
研究施設	・民間研究機関への施設開放 ・研究拠点として活用	5
その他	・背後集落用駐車場 ・近隣漁港から避難できる漁港施設の整備 ・スポーツ施設	9

（※水産庁調べ）

■ 漁港における海業推進のイメージ



地域の漁業実態にあわせ、漁港施設の再編・整理、漁港用地の整序等により、海業の場として活用するスペースを創出。

海業振興が水産業にもたらす効果事例

①直売所

場所：^{とや}都屋漁港（沖縄県読谷村）
事業主体：読谷村漁業協同組合

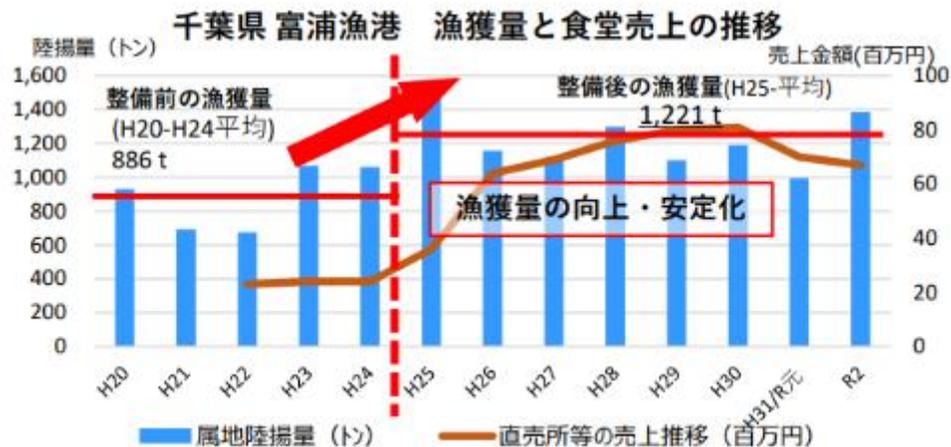
- 老朽化した荷さばき所を食堂や直売所と一体的な複合施設として再整備（平成29年供用開始）。
- 直売所及び食堂で販売する食材を荷さばき所から直接仕入れるため、買い支え機能を果たしており、整備前と比較して漁獲量、陸揚金額が向上。



②魚食普及食堂

場所：^{とみうち}富浦漁港（千葉県南房総市）
事業主体：岩井富浦漁業協同組合

- 観光等の異業種と連携し、魚食普及食堂を整備（平成24年供用開始）。
- 地域住民や都市住民の来訪客の増加により、食堂利用客、売上が増加。提供水産物のうち、約5割を富浦漁港から仕入れ、漁獲量の向上・安定化に寄与。



海業を推進するための取組について

ハード・ソフト両面から事業支援制度を活用し、漁港の利活用環境の改善や海業展開に必要な調査、活動、施設整備等を支援するとともに、海業の普及促進の取組を順次実施。

(1)主な支援事業

※【 】内は令和5年度概算決定額

①海業の展開に必要な調査等

- 浜の活力再生・成長促進交付金(水産業強化支援事業)【24億円の内数】
 - ・海業支援施設等の効果を促進するための情報発信等及びこれに係る調査
 - ・地域の活性化を図る地域人材の育成等及びこれに係る調査
 - ・漁村における交流面での活性化のための計画調査、外部人材招聘 等
- 漁港機能増進事業【6億円の内数】
 - ・漁港の機能の再編分担及び有効活用に関する調査、総合整備計画の策定 等

②海業にかかる活動支援

- 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション推進事業)【90.7億円の内数】
 - ・農林漁業者や流通事業者等がネットワークを構築して行う新商品開発・販路開拓等の取組
 - ・渚泊ビジネスの現場実施体制の構築及び地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げる取組や専門人材の派遣 等
- 漁協経営基盤強化対策支援事業【2.5億円の内数】
 - ・海業に取り組む漁協へのコンサルタント派遣・金融支援【拡充】
- 離島漁業再生支援等交付金【14.63億円の内数】
 - ・離島地域の漁業集落が共同で行う漁業の再生のための取組
 - ・特定有人国境離島地域における漁業・海業による雇用機会の推進のための取組

③漁港の利活用環境整備、海業支援施設の整備

- 水産基盤整備事業【729億円の内数】
 - ・漁港施設・用地の再編・整序等
- 浜の活力再生・成長促進交付金(水産業強化支援事業)【24億円の内数】
 - ・地域水産物普及施設、漁業体験施設等の整備
 - ・漁船以外の船舶の簡易な係留施設、陸上保管施設等の整備
- 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション整備事業)【90.7億円の内数】
 - ・販売戦略(IT関連)施設、販売促進(販売・貯蔵用)施設等の整備
 - ・釣り、潮干狩り、磯遊びの施設・休憩所等の整備
 - ・遊漁、ダイビング等に利用される係留施設、増殖施設等の整備
 - ・古民家等を活用した滞在施設や農林漁業・農山漁村体験施設など渚泊を推進するために必要な施設の整備
- 漁港機能増進事業【6億円の内数】
 - ・漁港の有効活用促進のための、陸上養殖に必要な用水・排水施設、水産種苗生産施設、養殖用作業施設等の整備
 - ・漁港の機能再編のための、用地の区画整理・整備・嵩上げ・舗装、支障物件の撤去 等

(2)普及促進の取組

以下の取組を順次実施。

- 支援事業、財産処分等の手続きなど、関連制度や支援策をまとめた「支援策パッケージ」の作成、相談窓口の設置
- モデル地区における計画づくり、民間事業者への情報提供によるマッチング支援
- 漁港において長期安定的な事業運営を可能とするための新たな仕組みを創設(漁港漁場整備法の改正「漁港施設等活用事業の創設」)
- 地域経済循環分析をはじめとする海業の取組の効果分析 等

【参考】新たな漁港漁場整備長期計画のポイント

重点課題

産地の生産力強化と輸出促進による 水産業の成長産業化

ア 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

- ◆ 圏域計画に基づく産地市場等の集出荷機能や製氷施設等の準備機能等の再編・集約
- ◆ 漁船の大型化に対応した岸壁の延伸や泊地の増深
- ◆ 輸出先国の基準・ニーズに対応した高度衛生管理や安定供給のための漁港機能の強化

イ 養殖生産拠点の形成

- ◆ 養殖適地の拡大のための静穏水域の確保・活用、漁場環境の改善
- ◆ 種苗の確保から加工・流通に至る一体的な施設の整備

□ 流通拠点漁港において、総合的な衛生管理体制の下で取り扱われる水産物の取扱量の割合
45% (R3) ⇒ おおむね70% (R8)

□ 漁港・漁場整備や漁港の活用を図る養殖生産拠点地域において、生産の維持・拡大により確保する養殖生産量
おおむね100万トン 等

海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による 持続可能な漁業生産の確保

ア 環境変化に適応した漁場生産力の強化

- ◆ 漁獲対象魚種の多様化に対応した漁場整備
- ◆ フロンティア漁場整備や水産物の生活史を踏まえた広域的な水産環境の整備等の資源管理の取組と連携した漁場整備
- ◆ ハード・ソフト一体的な藻場・干潟対策

イ 災害リスクへの対応力強化

- ◆ 大規模地震・津波等に備えた漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化、浸水対策
- ◆ 漁港・漁村における就労者等の避難対策
- ◆ 機能保全計画に基づく、予防保全型の老朽化対策への転換

□ 水産資源の回復や生産力の向上のための漁場整備による水産物の増産量 **5年間でおおむね6.5万トン**

□ 藻場の保全・創造の取組を実施する**全ての海域**において、取組実施箇所の**藻場面積を維持・回復**させる

□ 流通拠点漁港における、被災後の水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合
27% (R3) ⇒ おおむね70% (R8) 等

うみぎょう

「海業[※]」振興と多様な人材の活躍による 漁村の魅力と所得の向上

ア 「海業（うみぎょう）」による漁村の活性化

- ◆ 地域の漁業実態に即した施設規模の適正化と漁港施設の再編等による漁港の利活用環境の改善
- ◆ 漁港と地域資源を生かした「海業（うみぎょう）」等の振興と漁港に関連産業を集積させるための仕組みづくり
- ◆ ポストコロナを見据えた渚泊やワーケーション等の交流人口・関係人口の創出

イ 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

- ◆ 越波防止や防風施設整備等の安全対策の推進
- ◆ 浮体式係船岸や岸壁、用地等への屋根整備など軽労化施設の整備
- ◆ 漁村における漁業集落排水施設や漁業集落道など、快適な生活環境の整備

□ 漁村の活性化により都市漁村交流人口を増加
5年間でおおむね200万人

□ 漁港における新たな「海業^{うみぎょう}」等の取組件数
5年間でおおむね500件

※海業（うみぎょう）：海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業をいい、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの

目指す姿と主な施策

主な成果目標

（共通課題）社会情勢の変化への対応

- ・グリーン化の推進（設備等の電化、給電施設の整備、省エネ対策、再生可能エネルギーの導入、藻場の保全・創造 等）
- ・デジタル社会の形成（産地市場の電子化の普及、海域環境観測システムの活用、ICTやドローン・ロボット技術の活用促進 等）
- ・生活スタイルの変化への対応（消費者ニーズに対応できる水産物の提供体制づくり、衛生管理と併せた感染症対策、移住・定住や交流の受入環境づくり 等）

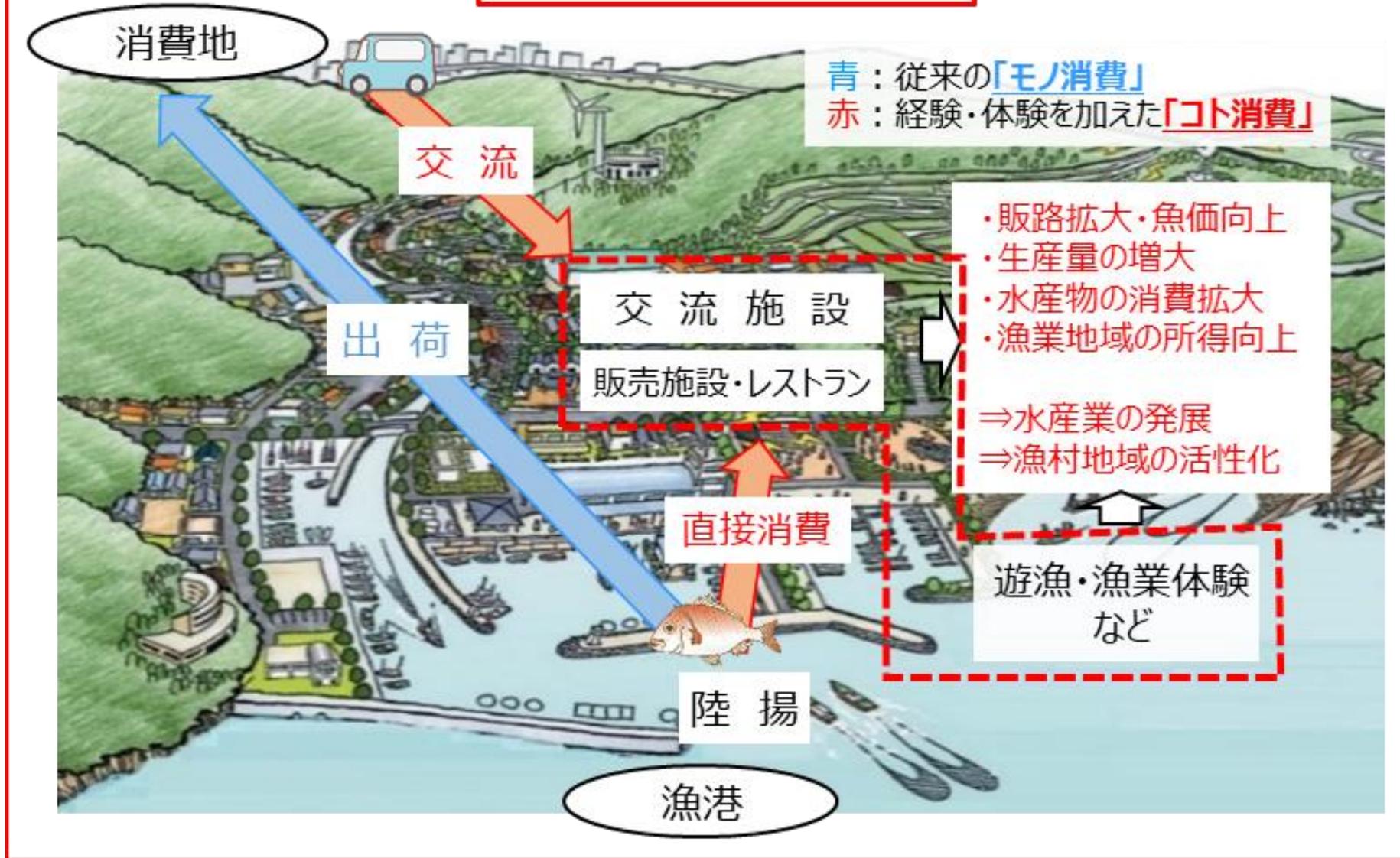
水産庁 海業の推進

漁村では、全国平均を上回る速さで人口減少や高齢化が進行しており、漁村のにぎわいを創出していくことが重要な課題。
豊かな自然や漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした「海業」※の振興により、雇用機会の確保と地域の所得向上を図ることが必要

特に漁港は、狭隘(きょうあい)な漁村において静穏な水域と事業用地が確保され、海洋資源の利活用を行いやすく、近年の消費者が求める「モノ消費」から「コト消費」を実践していくことが可能

水産庁では令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画において「海業の振興」を位置付け

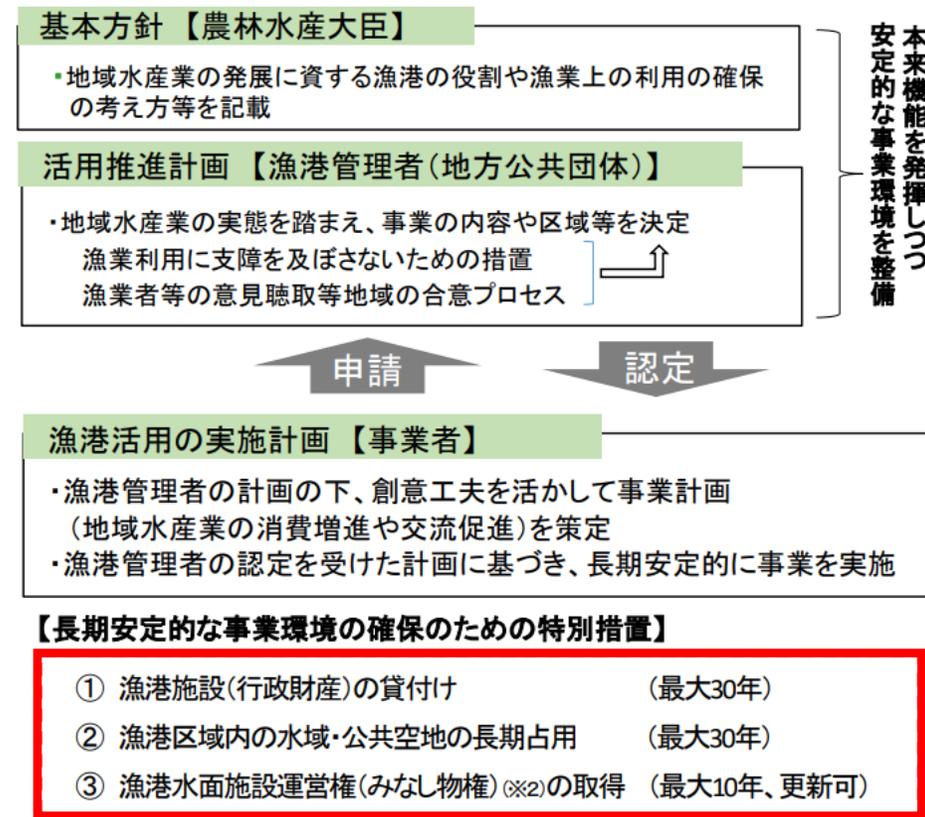
今後の漁港のイメージ



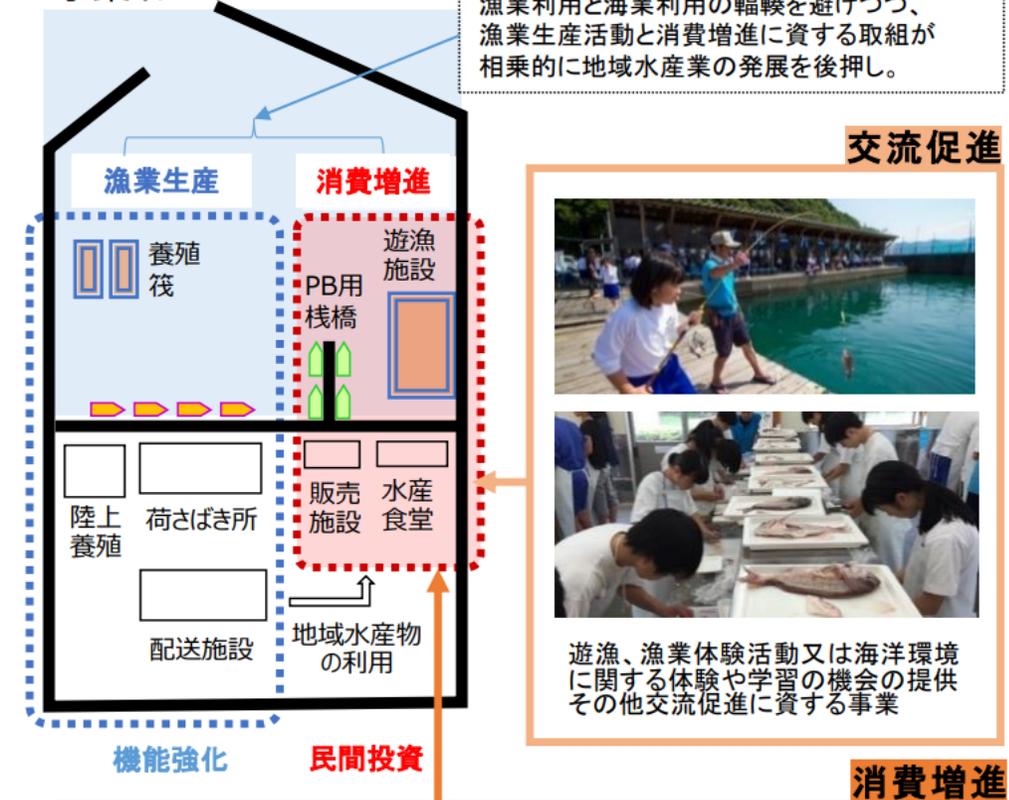
漁港施設等活用事業制度の創設

- 漁港について、漁業上の利用を前提として、その有する価値や魅力を活かし、水産業・漁村を活性化する制度を創設。
- 地域の理解と協力の下、漁業上の利用を確保した上で、漁港施設・水域・公共空地を有効活用し、水産物の消費増進や交流促進に資する事業を計画的に実施。

■ 漁港施設等活用事業 (※1) の実施スキーム



■ 事業イメージ



※1 漁港施設等活用事業：漁港の漁業上の利用の確保に配慮しつつ、漁港施設、漁港区域内の水域、公共空地を活用し、当該漁港に係る水産業の発展及び水産物の安定に寄与する事業（水産物の消費増進、交流促進）

※2 漁港水面施設運営権：漁港施設等活用事業のうち、水面固有の資源を利用する遊漁や漁業体験活動、海洋環境に関する体験活動等の機会の提供を行うため、水面を占有して施設を設置し、運営する権利

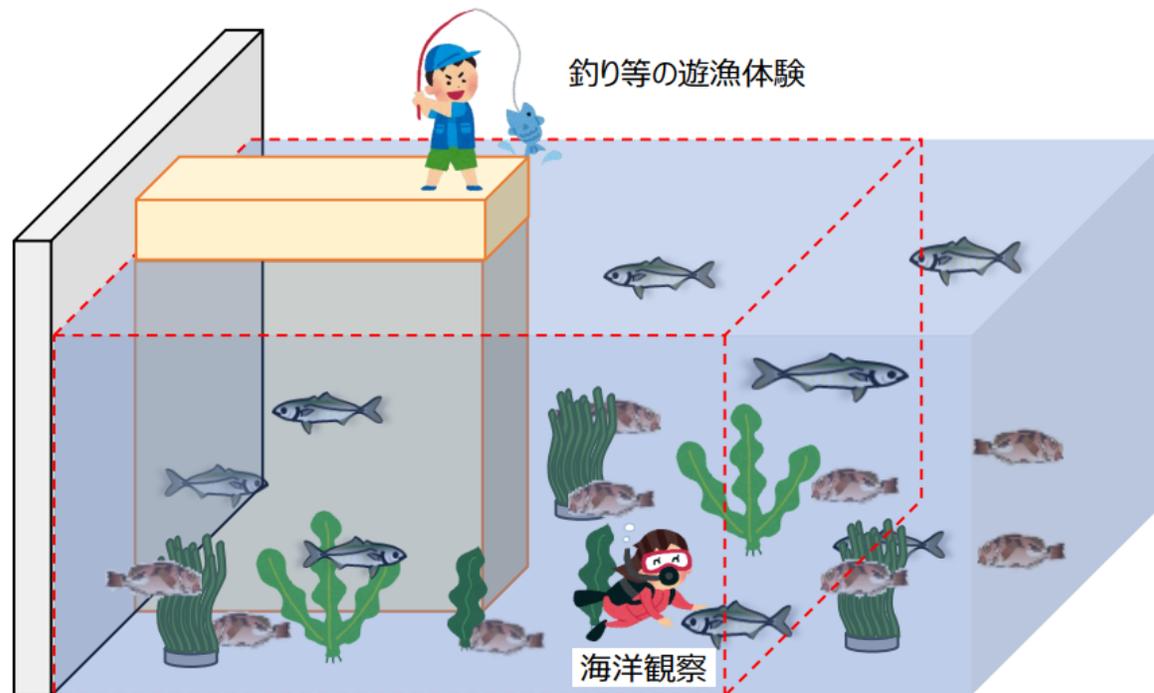
漁港水面施設運営権について

- 漁港水面施設運営権とは、①漁港の区域内の一定の水域における水面固有の資源を利用する漁港施設等活用事業を実施するために、②当該水面の占有をして必要な施設を設置し、運営する権利。
- 当該権利は物権とみなされ、土地に関する規定を準用。

【漁港水面施設運営権の性質】

- 最大10年間設定可能
(事業期間内で更新可)
- 事業者自ら、妨害排除請求権を行使可能
- 施設整備の資金調達に際し、抵当権を設定可能

- ① 一定の水域の水面固有の資源※を利用
(※水面固有の資源：魚類、海藻類等の水産動植物、及びこれらを含めた海洋環境そのもの)
- ② 水面を占有して事業※に必要な施設を設置し、運営
(※遊漁、漁業体験活動又は海洋環境に関する体験活動若しくは学習の機会の提供を行う事業に限る。)



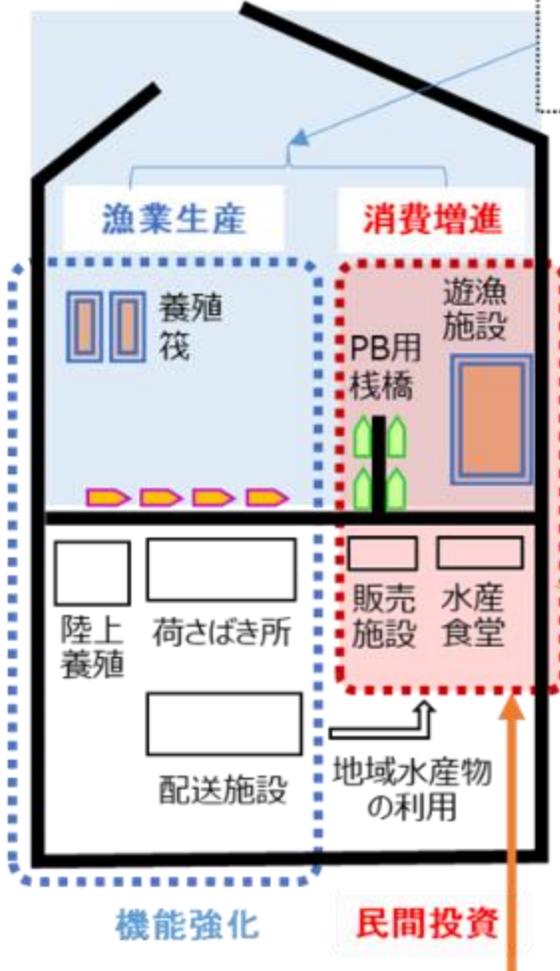
5年間でおおむね500件の漁港における新たな海業等の取組実施に向けて、水産庁が、個別に助言や海業の推進に関する情報提供等を行い、取組を積極的に支援する地区として、「海業の推進に取り組む地区」を決定。

「海業の推進に取り組む地区」北海道分を抜粋 ※全国で54件（令和6年3月26日）

No.	市町村	対象漁港等	申請者	取組内容
1	根室市	歯舞漁港	根室市 歯舞漁協	コンブ漁業体験インターシップ制度、組合施設（衛生管理型市場・防災施設・海業支援施設）の学生受け入れ、地元漁業者と合同でイベント開催、地域小中学生を対象とした水産学習・施設見学、遊覧船の運航、海業支援施設での地元水産加工品製造 等
2	寿都町	寿都漁港	寿都町	道の駅・浜直市場を中核とした水揚品・加工品販売、高付加価値品の開発・販売、マリンスポーツ事業、観光船、漁船クルージング、磯遊び、海の体験プログラム、プレジャーボートやヨットの係留・保管・貸出、海洋観光体験を付加した宿泊コンテンツ（寺泊） 等
3	泊村	盃漁港	泊村	「北海道とまりカブトサーモン」の販促用ポスター・ステッカー作成、生食用に冷凍加工し、ふるさと納税返礼品として活用、生食用以外の加工品の開発、規模拡大のための養殖環境整備、コスト削減手法等の検討 等
4	神恵内村	神恵内漁港	神恵内村	漁港内の老朽化施設や用途廃止した施設を再整備し、ウニの陸上養殖施設を整備、ウニの陸上養殖施設に見学スペースと加工品作りを体験できるスペース設置、地域商社を設立し国内外の販路開拓・商品開発、漁協女性部による商品開発・販売 等
5	古平町	古平港	古平町 東しゃこたん漁協	漁港内にある老朽化研修施設の一時滞在可能施設への整備、地域おこし協力隊による空き家リノベーション等漁港を核とした滞在型観光、教育学習、水揚げ風景の船上ツアー・市場見学・競り体験ツアー等観光プログラム、地元水産物を活用した商品開発、PR活動の展開 等
6	苫前町	苫前港	苫前町	新規事業者や高齢漁業者等がICTブイを活用しながらウニ・タコ等の蓄養、悪天候時の出荷や需要期における出荷等が可能な環境づくり（エサにブルーカーボンに貢献できるコンブを養殖）、キャンプ場やイベント、直売所・レストランで畜養した水産物の出荷・販売 等
7	白老町	白老港	一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS	元漁師、釣り好きの町民による漁港ガイド、遊漁船を活用し、リピーターを獲得するサービスの開発、遊漁船予約プラットフォーム、「釣り文化振興モデル港」を参考に有料釣り場の開設、港に活気をもたらすイベント、陸上養殖業 等
8	羅臼町	羅臼漁港	羅臼町	観光船乗り場の整備、大型クルーズ船係留、既存の取組と連携したオプションツアーの拡充、フリー散策手引きの作成、シャトルバスの運行、キャンプ場を活用した漁業者と宿泊者の交流イベント、海洋深層水散布による藻場繁茂、ブルーカーボン効果算出 等

■漁港施設等活用事業のイメージ

漁業利用と海業利用の輻輳を避けつつ、漁業生産活動と消費増進に資する取組が相乗的に地域水産業の発展を後押し。



交流促進



遊漁、漁業体験活動又は海洋環境に関する体験や学習の機会の提供
その他交流促進に資する事業

消費増進



販売施設又は飲食店の設置及び運営その他水産物の消費増進に資する事業

北海道内の事例(8漁港)

【増養殖】

陸上養殖施設、海面養殖施設、生産～加工～流通、学習

【漁業体験】

施設見学、セリ体験、漁船クルーズ、ガイド

【ブルーカーボン】

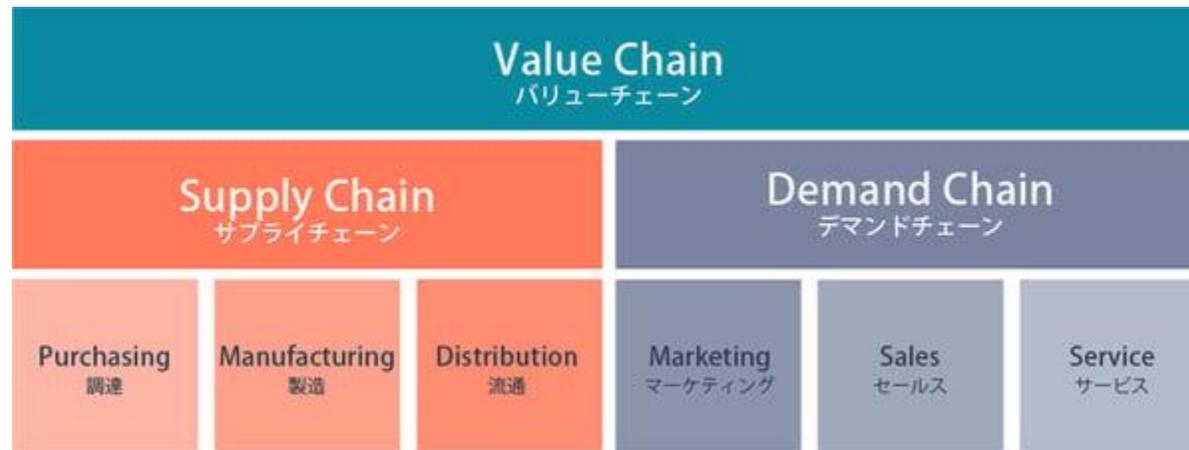
コンブ養殖、海洋深層水による藻場造成

【付加価値化、販売】

加工品製造、浜直市場、飲食、販路開拓

【その他】

大型クルーズ船岸壁、プレジャーボート、マリンスポーツ
磯観察、キャンプ場、有料釣り場、渚泊、二次交通



【サプライチェーン】

「供給の連鎖」。原材料の調達から生産、加工、流通、そして販売により消費者に提供されるまでの一連のプロセス（流れ）を指すものであり、この一連のつながりを鎖（Chain）に見立てた言葉。

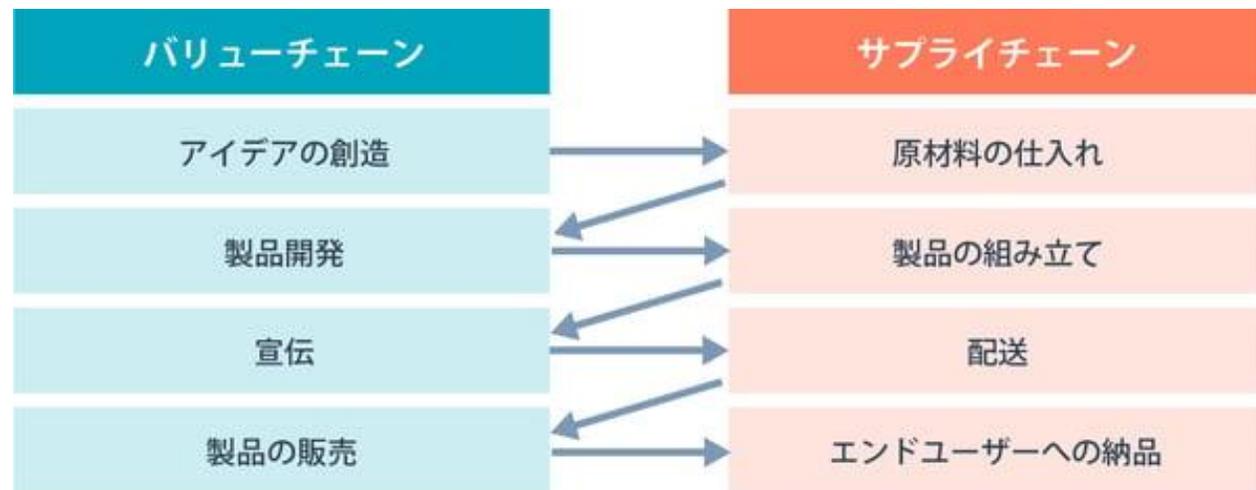
【デマンドチェーン】

消費者の需要を軸に市場へアプローチをかけ、供給者側へ需要に関する情報を遡及させていく業務連鎖。市場調査や購買情報の収集、または市場へ需要を作りに行く営業活動などが挙げられる。

【バリューチェーン】

「価値連鎖」。企業における各事業活動を価値創造のための一連の流れとして捉える考え方。企業の事業活動は原材料調達から製造、流通、販売を経てアフターサービスにいたるまで多岐にわたります。それぞれの事業活動が役割や機能を持ち、価値を創出している。しかし企業が創造する付加価値は、活動ごとに生み出された価値を単純に合計したものではなく、それらが複雑に絡み合い、全体最適化されて生み出された連鎖する価値と捉える。

	Supply Chain サプライチェーン	Value Chain バリューチェーン
意味	商品・サービスを安定的に供給するためのチェーン	自社の価値を生み出す一連の事業活動のチェーン
発想点	サプライヤーが起点	顧客が起点
プロセス	運営管理	経営管理に近い
思考	緻密に考える	俯瞰して考える
主目的	顧客満足度	競争優位性の獲得



バリューチェーン、サプライチェーン、それぞれの構成要素すべてが互いに緊密に連携する体制を築くことが、顧客満足度を高めるために重要

第9期 共に北海道の未来を創る 北海道総合開発計画



北海道総合開発計画は、北海道の豊かで持続可能な発展を実現するための総合的な計画です。地域の活性化と持続可能な発展を実現するために、様々な施策を推進してまいります。

日本は持続的な発展のために

豊かな北海道を!

「生産空間」とは、農林水産・観光に係る場のことで、北海道総合開発計画に位置付けられた新たな概念です。北海道において、農業・漁業の生産は主に地方部で行われ、また、観光資源・地域資源も地方部に広く分布しています。しかしながら、全国に先だって急速に進行している人口減少・高齢化や、北海道特有の広域分散型社会と相まって、これらの「食」・「観光」を担っている「生産空間」で暮らす人々の生活が困難になるおそれがあります。そのため、「生活サービス」を市街地（地方部の市街地）に、「いのちの安心」を最寄りの大きなまち（圏域中心都市）に、それぞれ頼りながら、「生産空間」に住み続けられる北海道型の地域構造の保持・形成が重要です。（2024年よりおおむね10年間）



(注) 1 主な通院先、入院先に着目した場合の地域の結び付きの例。設定条件により圏域は変わり得る。
2 本地区は必ずしも我が国の領土を包括的に示すものではない。
資料) 総務省「平成22年度国勢調査」より国土交通省作成

取り組み事例



IC



近くのまちの保育園や診療所までの道がきちんと除雪されて、冬でも安心して車の運転ができるようになりました。



IC



高速バス

IC

高速道路等

圏域中心都市



お母さんの通院の送迎がバス停まででよくなりました。時間に余裕ができて、最近できた農産品加工場で働けるようになりました。



家の場所を変えられないけど、まちとのつながりが良くなったので、家族みんな前より安心して暮らせそうです。

生産空間

デマンドバス

大きい区画に

農産品加工場

※人口低密度地域における交通体系のあり方についても検討します。

整備前の農地



H



ドクターヘリ

※冬のドクターヘリのヘリポートまでのアクセス時間を夏と同程度になるように整備します。

大きなまちの病院までバスで通えるようになりました。いざというときも冬でもドクターヘリかべあるので安心です。



水産加工場

農地の生産効率が上がり、洪水対策のおかげで安心になりました。これで農業を続けていけそうです。





海に学ぶ体験活動協議会
Council for Nature Activity
along the Coast

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会(CNAC)は、
国土交通省港湾局が推進する海辺・みなとにおける環境教育・自然体験活動を促進するため、
海辺やみなとを活動の場とするNPO等とのネットワーク化を目的として、
2007年にNPO法人として設立されました。

※海洋基本法 2007年7月施行





港であそぶ

「港内であそび」が基本ルール。でも、地元の子どものあそび場がある漁港もよくみかける。そして、さんばしでのつりは天童にみてもえることが多い。

なにして あそぼ

さんばしからのつりは定番。おだやかな漁港は、小さな生きものや海藻をもとめてくださるの図がやってくる。

海の漁入を待てる“飛びこみ”
地元の子どものあそび場がある港では、飛びこみが入る。飛びこみで、ういて、もどる。この遊びが海の漁入を待てる。

あみずし場でお宝ゲット
港内のあみずし場では、あみからはずされ、すてられる生きものに注意。

キケンくんはどこ？

“あみずし場にいらぬキケンくん”をさがそう。

さんばしの先はキケン！
岸からまた天童が盛り上げることがある。このあたりは漁港の漁の盛り、海産物の盛り、盛り上げられる。ゆだんできない。

消波ブロックに近づくな！
着るとブロックにはさまれ、ケガをし、おぼれてしまうキケンな場所だ。

スロープですべてころぶ！
船を船にひき上げるためのスロープは、海産物や天童でスルスルスルス。すべてころび、こぼれ落ちてしまう。

船で「いたたっ」「あらっ」
船とさんばしの間に手紙を出す。はさまれる。また「船べりにはずさるらないこと」が船に乗るときは、海でゆれて海に落ちることがある。

●キケンな海産物は、海産物にはさまざまな種類がある。とくに、魚、貝、カラスなどで、また天童の魚では、ケガの原因となる。コトの海産物では、はたしはキケン。あみずし場にみてもうけることある。

もしものときのセルフディフェンス

あゝ 海に落ちた
どうしよう！
うきあもない！

ういて まで！

**あわてずに
ラッコうき！
うかんで
助けを待とう**

おぼれたときの基本「ラッコうき」
おぼれたとき、おぼれはってコロコロおぼれはっている水一歩、おぼれはっておぼれはって

うきあもない！
うきあもない！

うきあもない！
うきあもない！

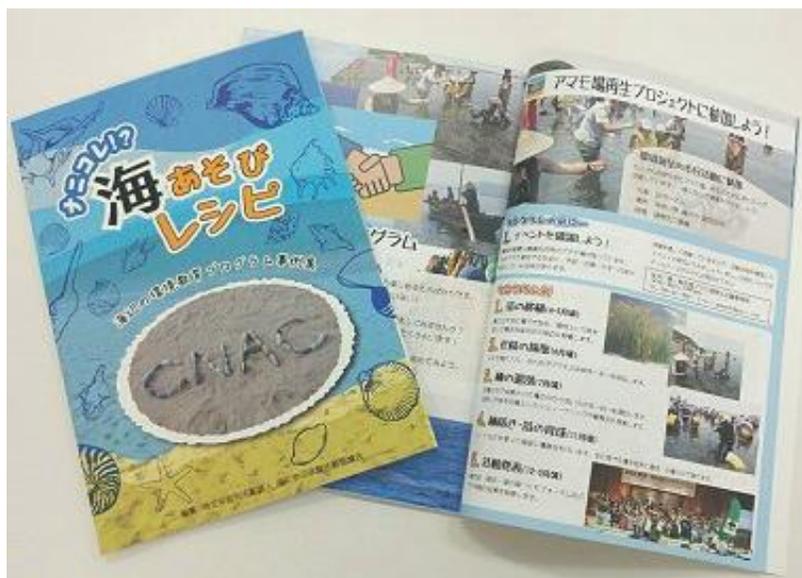
ニンゲンうきしすみ学

1. うきあもない、うきあもない、うきあもない。
2. うきあもない、うきあもない、うきあもない。
3. うきあもない、うきあもない、うきあもない。

うくモノがあれば、もっと楽にうける。ペットボトルは役に立つ。

身につけていると、うくモノ。ライフジャケット、浮力にもよる。

浮力アップ、スポーツドリンク、ウエットスーツ。



漁師 1日体験!



漁師になりきり、道具を使う!
 漁師さんの様々な道具を使って、舟や舟を操縦しましょう。海の豊かさを直接感じる事ができます。

対象 幼児～大人
 場所 読漁など
 時間 連携先と相談

👉👉👉の前👉👉👉
1. 連携先と計画しよう
 近くの漁師や市町村に問い合わせをし、体験を行っているのを確認しましょう。そのうえで必要な道具などについて相談しましょう。

海上での注意事項
 ・船中ではライフジャケットの着用は必須です。着し忘れなければ必ず着用しましょう。
 ・酔い止め薬を併用し、転倒に備えましょう。
 ・海が荒れた日は実施を避けましょう。

👉👉👉の前👉👉👉
1. 刺し網体験
 漁師が漁師する漁網に刺さわり、魚を獲る漁法です。長の大さきによって採れる魚が違います。海船に乗った網上げから、海での網から魚をさす体験ができます。

2. 投網体験
 舟から海の奥に漁網を投げ込み、魚を捕る方法です。投げ方は難しいですが、うまく投げれば感動は絶頂です。

3. 地曳網体験
 舟を漕ぎよりに仕掛けた網を舟から引き上げる漁法です。網の引きこみから体験でき、より多様な種類の生物と出会えます。

4. 鈎簾・腰捲き体験
 伝統に由来する舟を操る漁法です。アサリやハマグリなど大ききによって道具の扱い方が異なります。

🌟ココがポイント
 海産物が豊富な日本では古来より様々な漁法があります。体験して古人の知恵を学びましょう。



わかめを育てて食べよう!



わかめ養殖から収穫まで
 わかめを養殖し、収穫できるプログラムです。わかめ養殖さんの喜びをまるごと体験できます。

対象 幼児～大人
 場所 読漁など
 時間 連携先と相談

👉👉👉の前👉👉👉
1. 連携先と計画しよう
 近くの漁師や市町村に問い合わせをし、体験を行っているのを確認しましょう。そのうえで必要な道具などについて相談しましょう。

海上での注意事項
 ・船中ではライフジャケットの着用は必須です。着し忘れなければ必ず着用しましょう。
 ・酔い止め薬を併用し、転倒に備えましょう。
 ・海が荒れた日は実施を避けましょう。

👉👉👉の前👉👉👉
1. わかめの種付け体験(11月頃)
 養殖ロープにわかめの種を種付けします。付けたロープは中央の養殖いかに設置します。これから冬の寒波が来るとわかめは成長してきます。

2. わかめの収穫体験(2月頃)
 船に乗って養殖いかに入行き、わかめを収穫します。収穫の後はわかめを養殖ロープから取り除きます。

3. わかめを味わおう
 採れたてのわかめを味わいましょう。消費したわかめを湯通しして、しゃぶしゃぶのように食べましょう。葉とあかしの味を食べ比べたり、湯通しした際の色の変化を楽しみながら海の様子に感謝しましょう。



積丹半島からの挑戦 地域商社キットブルー

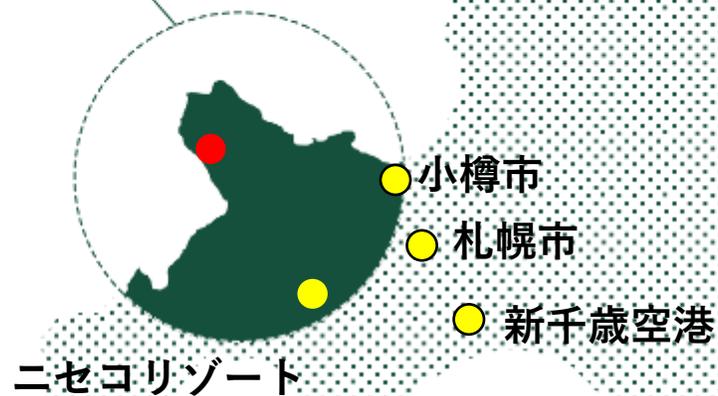
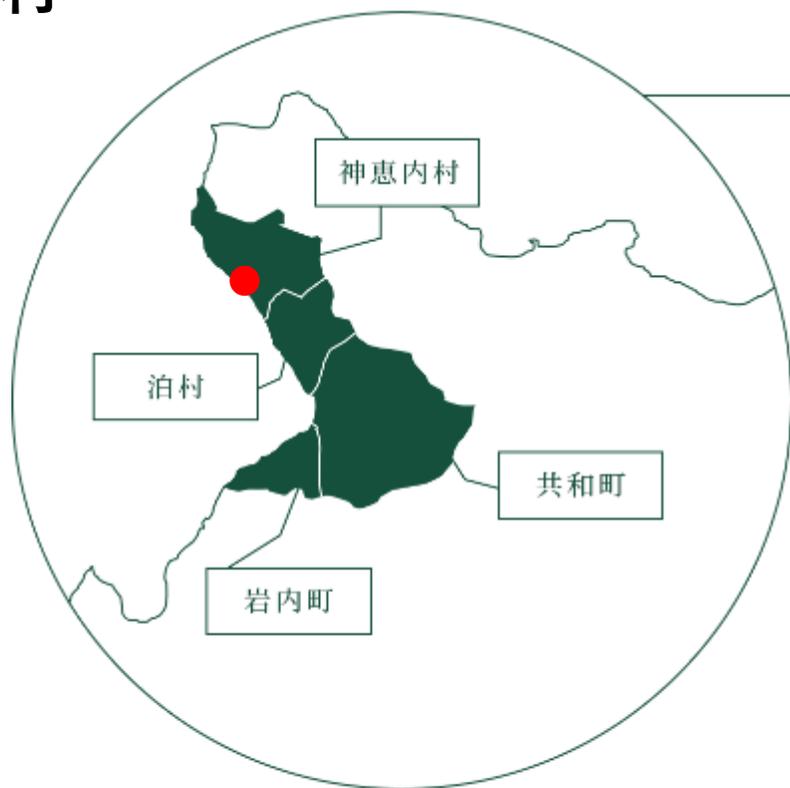
～神恵内村・岩内町・泊村 3つのまちから「売れる」をつくる～



Kamoanei 神恵内村

Iwanai 岩内町

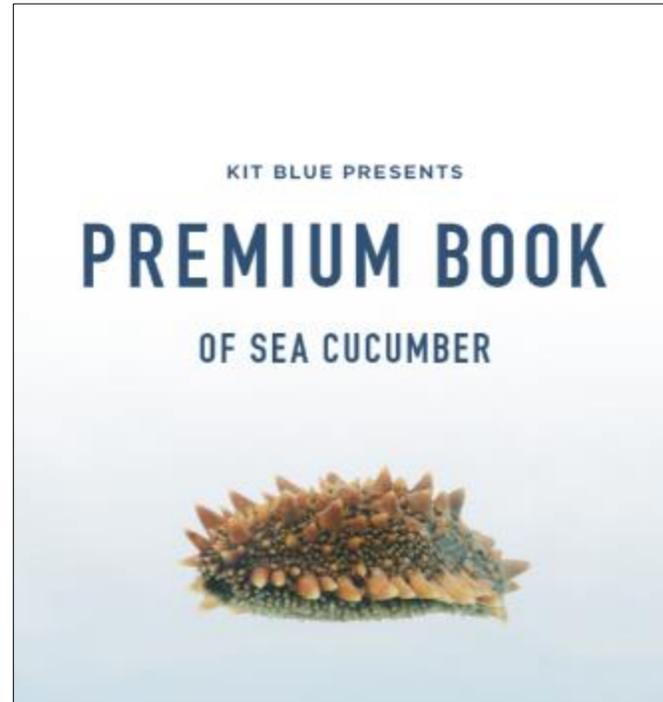
Tomari 泊村



ウニ・ナマコからはじまる地域商社プロダクト



北海道海參馬油



商品開発のキーワード

計画生産 計画出荷 資源管理 品質保証 新しい味 機能性 輸出 インバウンド 越境EC

いつしか、北海道で 最も人口の少ない漁村へ

(745人 2024年4月30日現在)

- かつてはニシンの大漁場所
- スケトウダラ、サケ・マスも昭和の時代に獲れなくなり、汽船漁業が衰退
- ウニ・ナマコ・アワビを獲る浅海漁業は漁獲の大切な部分を占めていたが、**磯焼け**が進み、これらの生産も大きく減少
- 荒れる日本海に海面養殖は不向き
- **北海道日本海沿岸が共通で抱える課題**
- **洋上風力発電有望地域**
- **高レベル放射性廃棄物処理「文献調査」**





藻場(海のゆりかご)

- ・ 海水温の上昇
- ・ 貧栄養
- ・ ウニの食害 など



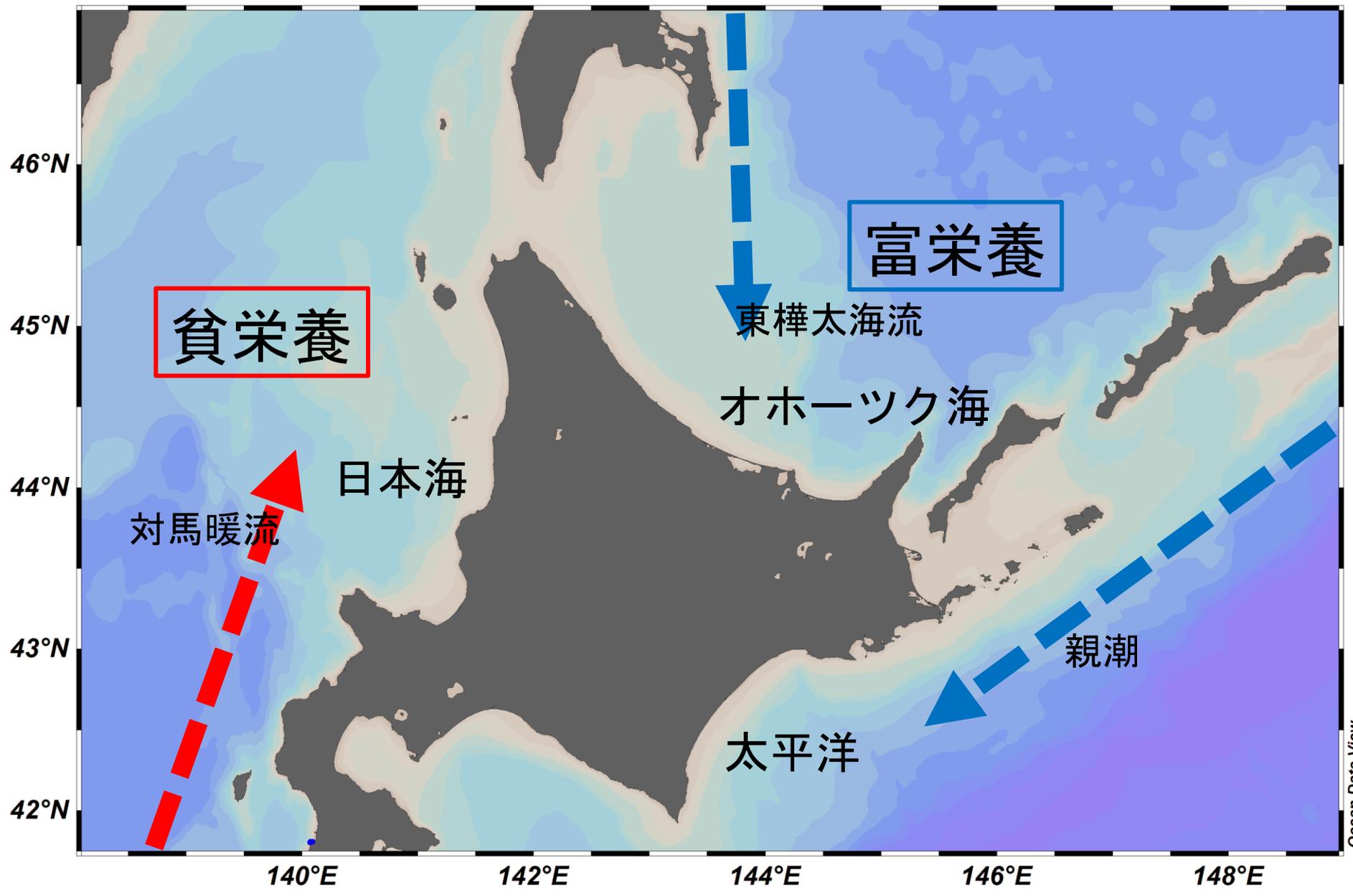
磯焼け(海の砂漠化)



生物多様性 ↘

生物生産 ↘

例えば「ウニの身が入らない」



○海域別で見た漁協組合員1人当たりの生産額（令和3年）



（出典：北海道水産業・漁村のすがた2023—北海道水産白書—，道水産林務部）

日本海 神恵内村の海は、

- ・ 海の栄養が少ない → 生物生産が少ない
- ・ 冬の季節風（北西風）が強い → 海面養殖施設には不適

各海域の沿岸漁業生産および栽培漁業生産(令和3年)

(トン、百万円、%)

区分		日本海	太平洋			オホーツク海	合計
			計	えりも以西	えりも以东		
栽培漁業生産 (A)	生産量	78,545	158,934	89,041	69,893	331,469	568,948
	生産額	27,521	52,661	25,324	27,337	85,985	166,167
沿岸漁業生産 (B)	生産量	131,029	361,255	213,316	147,939	344,278	836,561
	生産額	48,165	88,711	41,879	46,832	94,526	231,402
栽培漁業生産の沿岸漁業 生産に占める割合 (A/B)	生産量	59.9%	44.0%	41.7%	47.2%	96.3%	68.0%
	生産額	57.1%	59.4%	60.5%	58.4%	91.0%	71.8%
各海域の生産	生産量	167,023	661,261	231,152	430,108	404,702	1,232,986
	生産額	51,381	108,783	43,517	65,266	98,468	258,633
漁業経営体数(2018年漁業センサス)		3,986	5,933	3,331	2,602	1,170	11,089
沿海地区漁協数		25	33	15	18	12	70
沿海地区漁協 正組合員数(人)		4,460	7,661	4,324	3,337	1,946	14,067
組合員1人当たり生産額(万円/人)		1,152	1,420	1,006	1,956	5,060	1,839
(参考)							
ホタテガイ稚貝販売額(億円)		30	9	1	8	32	71
各海域の生産額+ホタテガイ稚貝販売額概算(億円)		544	1,097	436	661	1,017	2,658
組合員1人当たり生産額(百万円/人) ※ホタテガイ稚貝入り概算		12.2	14.3	10.1	19.8	52.2	19.0

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」(生体重量)

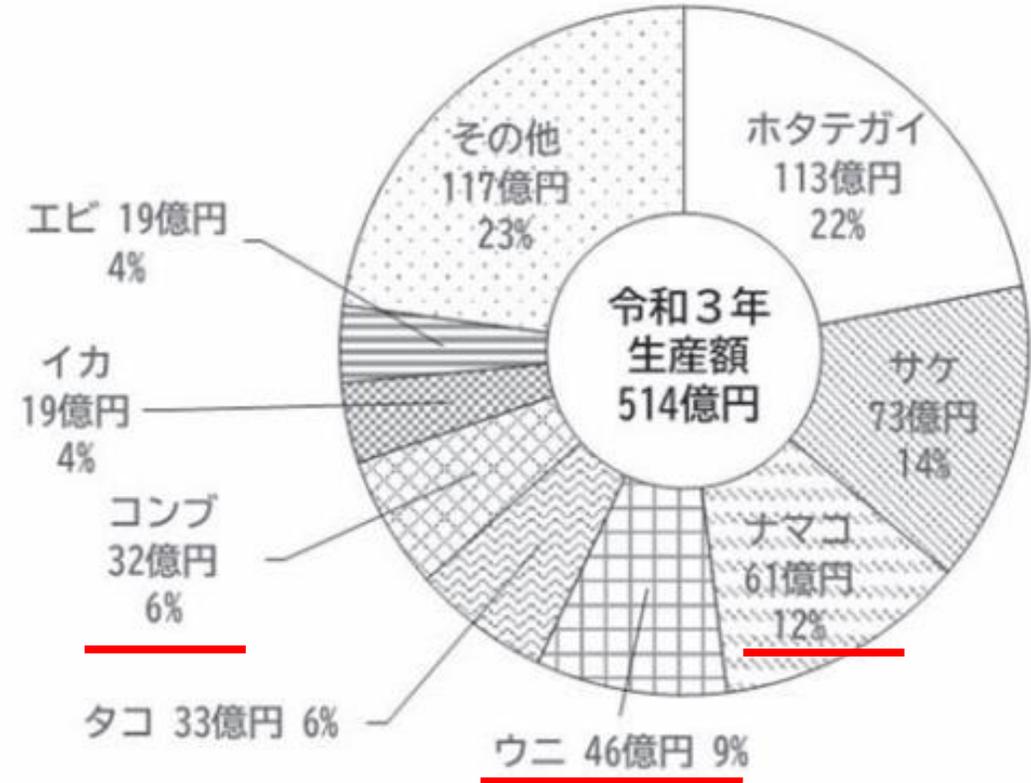
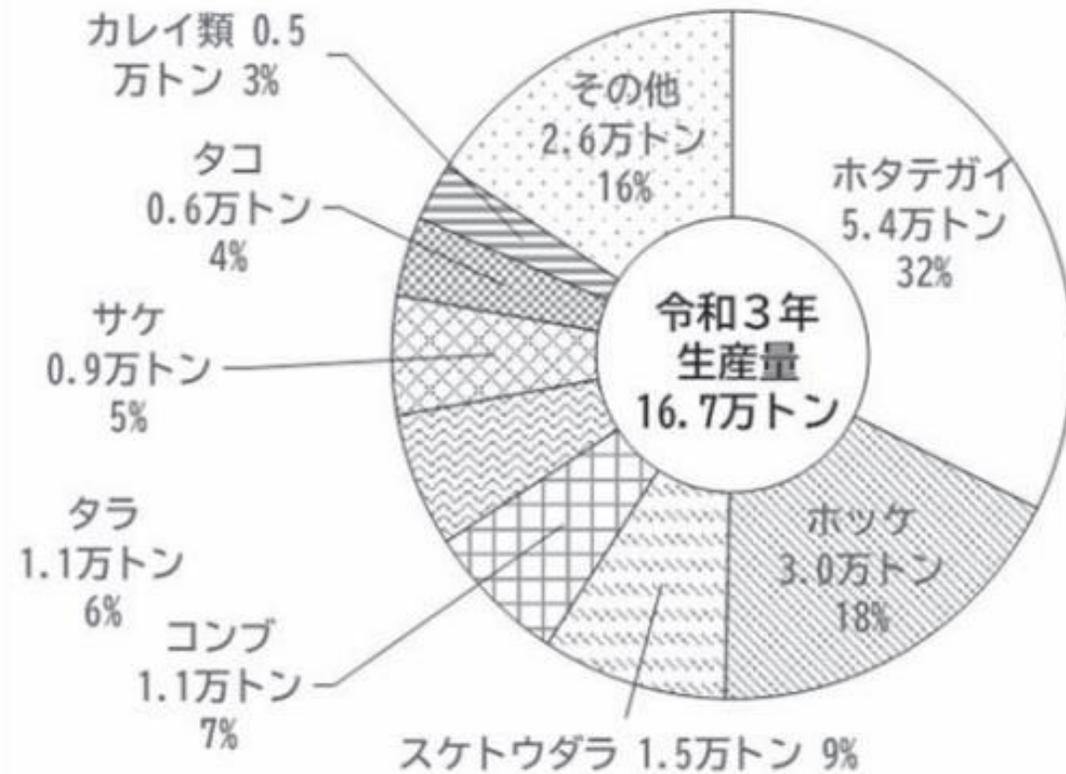
公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会「栽培漁業種苗生産、入手・放流実績」

注1：栽培漁業は、対象種をサケ・マス(沿岸のみ)、ヒラメ、マツカワ、ホタテガイ、コンブ、ウニ、アワビ、カキとして算出

注2：沿岸漁業は、大臣許可漁業及び小型さけ・ます流し網漁業、小型さけ・ますはえ縄漁業を除いたものとして算出

注3：沿海地区漁協は、養殖組合を除く

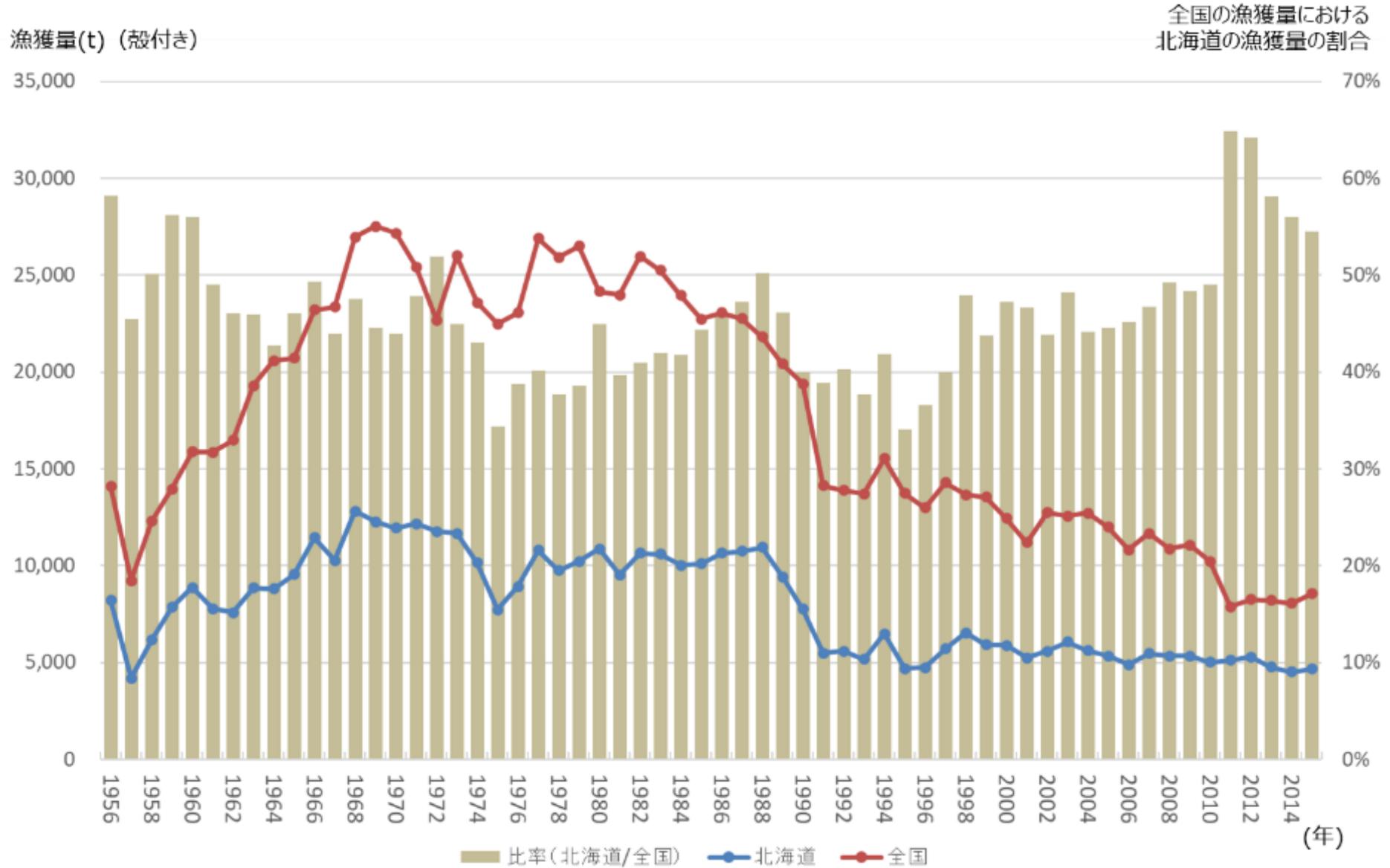
日本海の生産量および生産額(令和3年)



資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」(生体重量)

磯根資源：ナマコ+ウニ+コンブ合計139億円(27%)

ウニの海面漁業漁獲量累年統計



年々生産量は減少、地球環境変動により生育環境も悪化している

概要

- 近年の海況変化による漁獲対象魚種の変化や藻場の減少等の問題を抱えながらも地域資源を最大限活用した事業を推進し漁業者の所得向上や浜の賑わいを取り戻すことが求められている。
- つくり育てる漁業の推進として、藻場の再生やウニの陸上養殖事業実現に向けて海面での短期養殖や国の補助金を活用し陸上養殖設備で実証実験を行ってきた。
- 他に水産物のブランド化として、地域商社を設立し国内外の販路開拓や商品開発の他、地元漁協女性部による商品開発・販売を行っている。

北海道



効果

- 事業化による効果
 - ・年商5億円目標
 - ・雇用の創出30人~50人
 - ・交流人口の創出による経済効果

協力体制

神恵内村産業建設課
ウニ養殖部会
古宇郡漁業協同組合
道内農協
近隣加工会社
商工会・観光協会

スケジュール

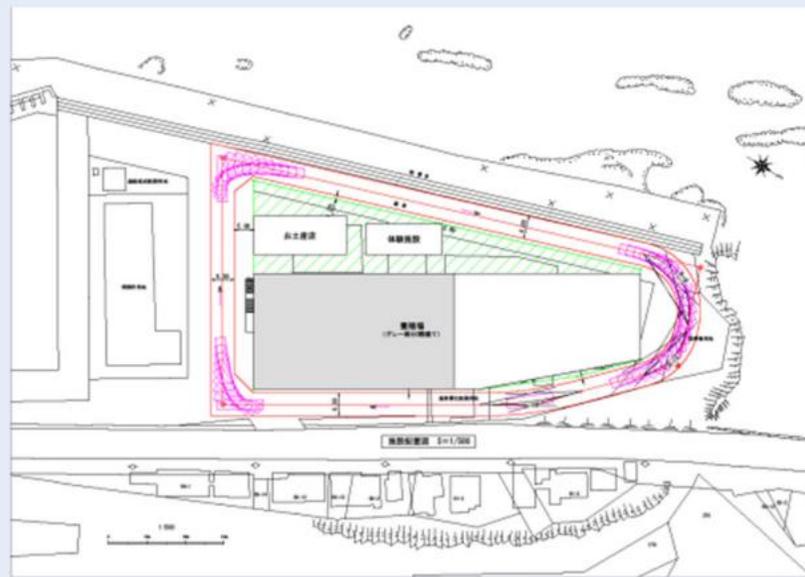
令和6年度 陸上養殖施設基本構想
令和7年度 陸上養殖施設実施設計
令和8年度 陸上養殖施設建設工事
令和9年度 陸上養殖施設運用開始



海業の取組概要

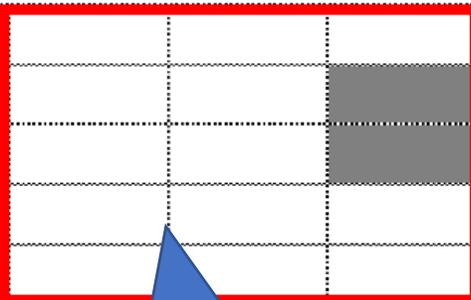
ウニの陸上養殖施設の建設

- 漁業者等が施設運営に関わることで海況に関係なく年中安定した出荷が見込まれ所得向上
- 村内外からの施設従業員の雇用
- 施設敷地内にウニ種苗から出荷までの課程が見学出来るスペースやウニの加工品作りを体験出来るスペースにより滞在型・体験型観光の推進を図る他、売店併設で加工品販売も行うことで、村外からの経済効果



各地のウニ漁期カレンダー

主要漁獲地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
日本	北海道	日本海													
		噴火湾													
		太平洋													
		ホトケ													
		三陸													
		九州													
海外		カナダ													
	米国	東海岸													
		西海岸													
		ロシア													
		韓国													
		中国													
		チリ													
	メキシコ														

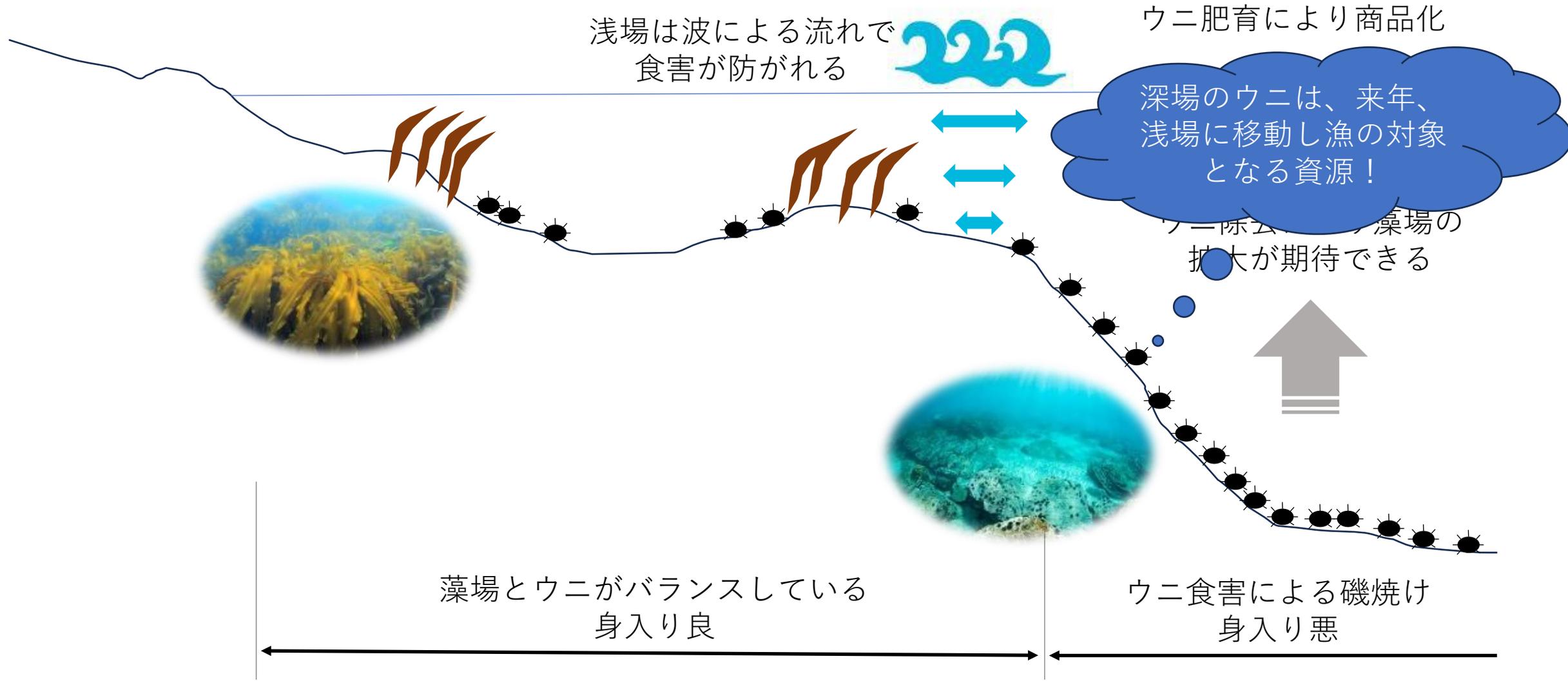


■ : 漁期

販売戦略① 商圈における端境期を狙い、高価格で出荷

販売戦略② 通年の安定的な計画出荷で、商品力を高める

日本海沿岸の藻場とウニの関係

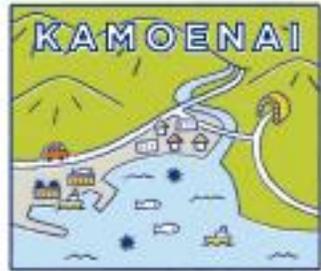


地球と人にやさしく
美味しいウニを神恵内から発信

神恵内村の美味しいウニを世界中に届けてあげたい。そんな思いから、2018年に陸上養殖システムの研究がスタートしました。

地球にやさしい再生可能エネルギーや、デジタル技術を使った養殖って、なんだかカッコイイ。たくさんの技術者が研究に協力するプロジェクトでは、地球環境や先端テクノロジーを学ぶこともできるんです。

「美味しいウニ」で面白い仕事をし、お客様の笑顔をつくる。小さな神恵内村から、世界とつながる未来へ。



再生可能エネルギーとハイテク陸上養殖

ワクワク未来MAP



再生可能エネルギー

- 1 洋上風力発電(電気エネルギー)
- 2 陸上風力発電(電気エネルギー)
- 3 太陽光発電(電気エネルギー)
- 4 温泉熱(熱エネルギー)
- 5 地中熱(熱エネルギー)
- 6 停電時の電源(蓄電池)

デジタル技術 ICT・IoT

- 7 陸上養殖の管理アプリ
- 8 養殖場でのモニタリング
- 9 水質センサー
- 10 監視カメラ
- 11 エサやりロボ(ロボティクス)
- 12 ウニ割りロボ(ロボティクス)

養殖

- 13 エソバファンウニ
- 14 特殊な飼育水槽
- 15 水循環システム
- 16 エサ(野菜由来)の独自開発

加工・流通・体験学習

- 17 ウニ割り・身の取り出し
- 18 鮮度保持パッケージ
- 19 運ぶ(電気自動車)
- 20 売る(食品舗・インターネット販売)
- 21 食べる(飲食店・おうちごはん)
- 22 学ぶ(ウニ割り体験・環境教育)

※ ICT (アイシーティー) : 情報通信技術。
 ※ IoT (アイオーティー) : インターネットを媒介としたモノ・モノとインターネットの連携技術。
 ※ 電気自動車は充電が必要で走行距離が制限されるため、充電インフラを整える必要がある。

KITBLUE

髙沿海調査エンジニアリング

FUJITSU

Hitz
Hitachi Zosen

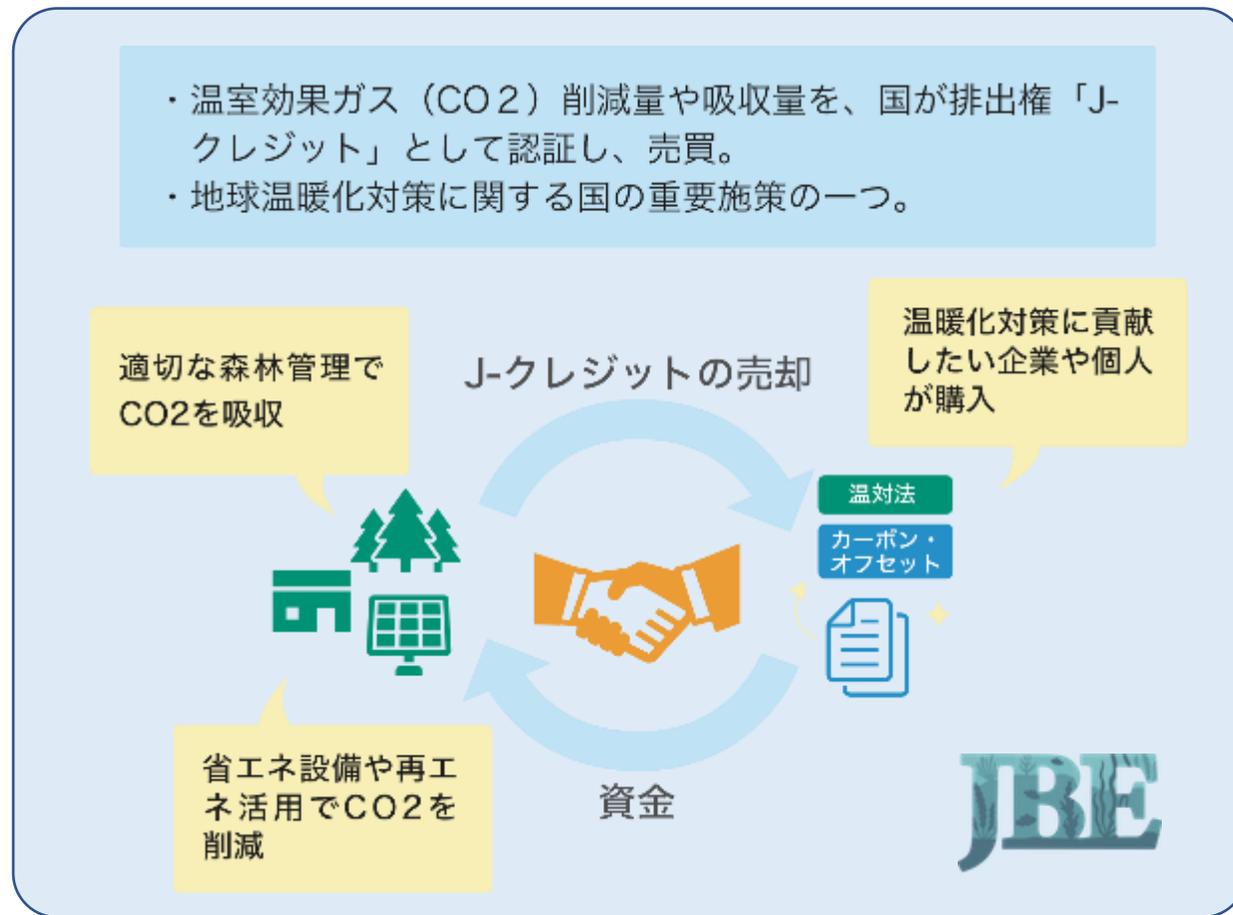
Air Liquide



藻場の再生



養殖コンブ



ブルーカーボンによる
排出権取引

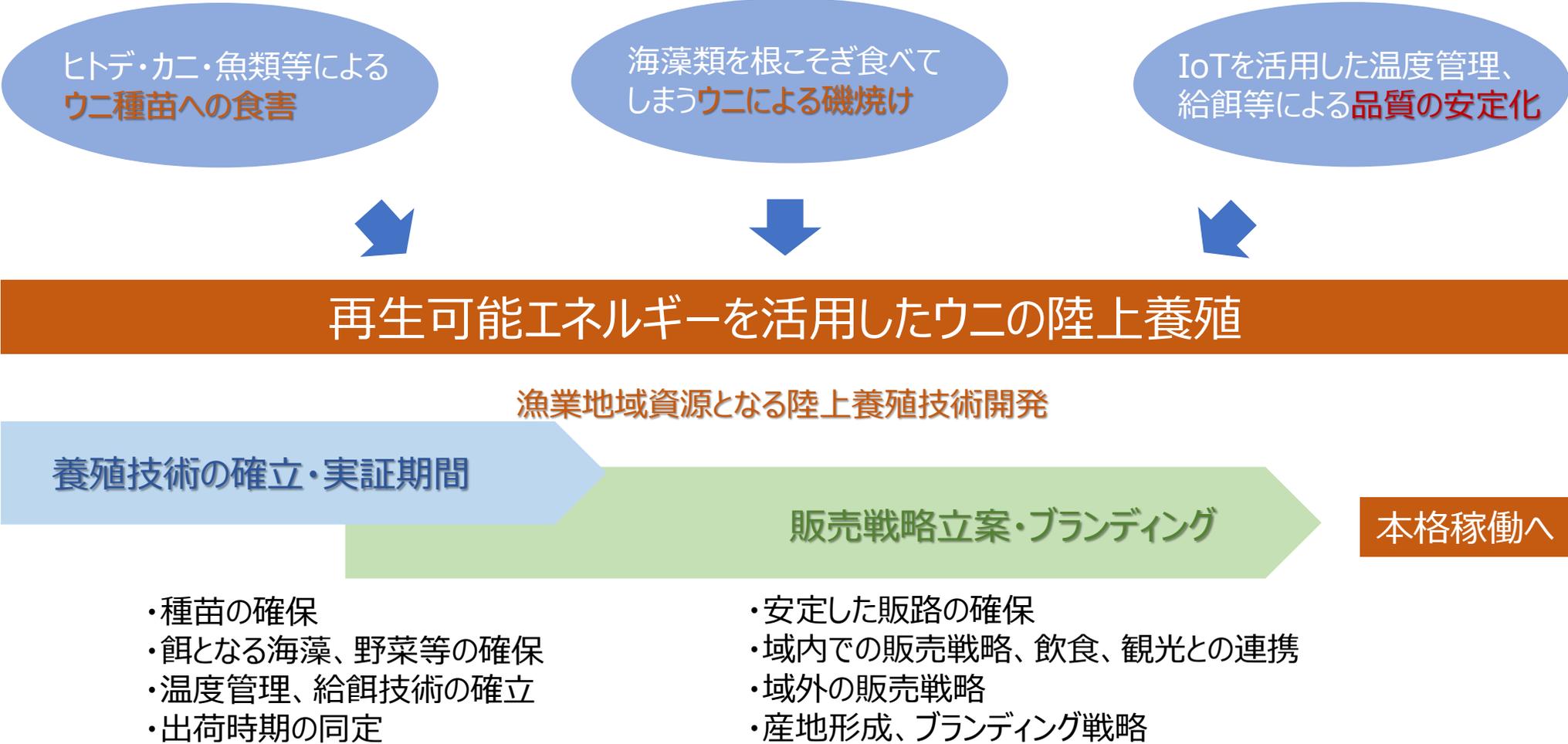
流出する海藻を餌料としたウニ

洋上風力発電



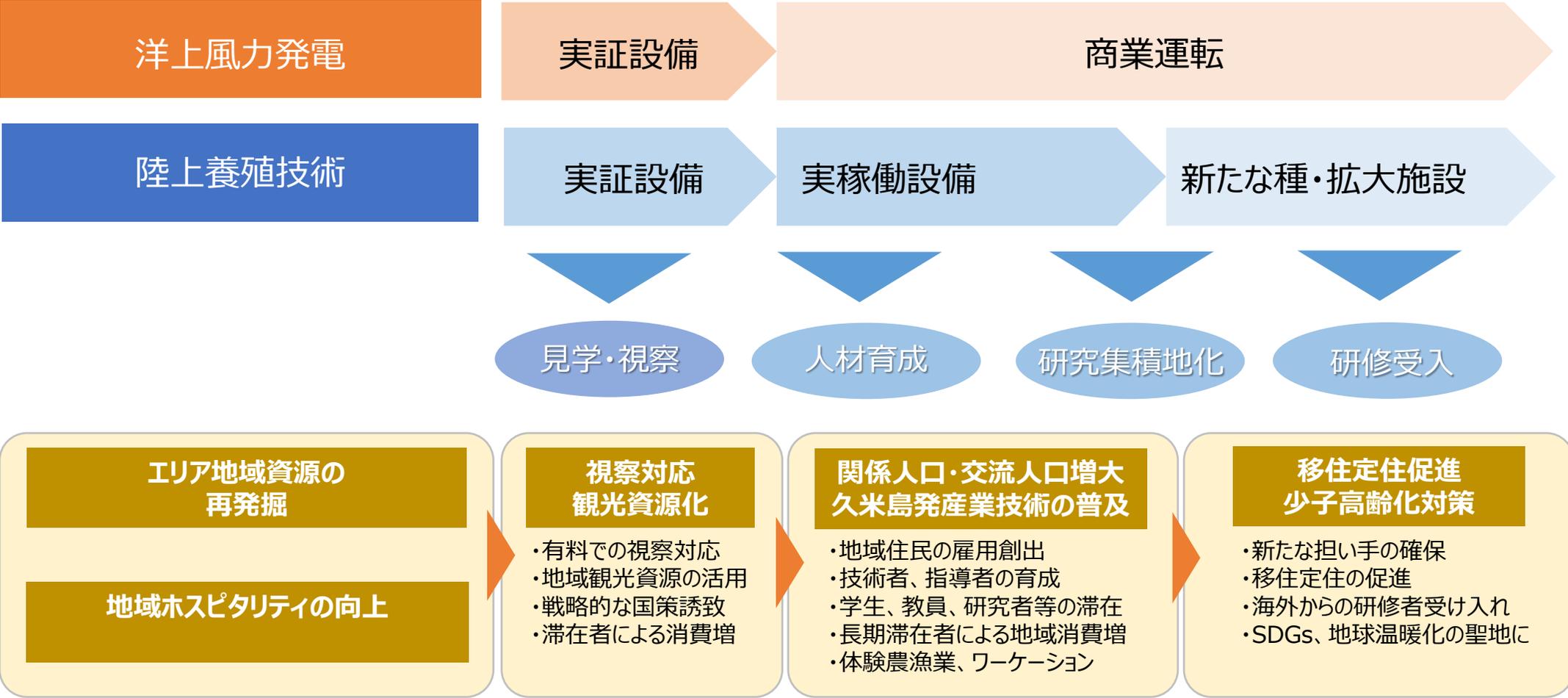
高付加価値な収益源となるウニ陸上養殖の検討

洋上風力による再生可能エネルギーを活用し、全国的に需要の高いエゾバフンウニやキタムラサキウニの養殖にチャレンジ。資源維持のため各地で計画的な種苗の放流も行われているが、磯焼けへの影響もあるため、ウニ種苗の放流には海藻類の保全と合わせた特段の配慮が必要。



持続可能な教育のまちづくり

洋上風力発電の本格導入を契機とした、経済成長シナリオ進展のための人づくり



大手ホテル・スーパーの水産物調達基準

HILTON + SUSTAINABLE SEAFOOD

TRAVEL WITH PURPOSE
At Hilton preserving the environment helps us meet the needs of our business today while positively influencing tomorrow.

DID YOU KNOW?

- 90% of our oceans are overfished*
- 50% of fish species are considered "at risk" or "near threatened"†
- Businesses and consumers can make a difference by knowing where our seafood comes from and making a responsible choice.

HILTON'S SUSTAINABLE SEAFOOD GOALS
By 2022, we commit to responsibly source seafood by:

- Protecting the Endangered**
Ban the procurement of endangered species from all our properties.
- Buying from the Best**
Supply at least 50% of our seafood to meet, managed or controlled from MSC or ASC certified sources.
- Investing in the Rest**
Supply the rest of our seafood meeting broader ecological, sustainable requirements by 2020 (year 51**).

WHAT HAS HILTON DONE SO FAR?

- 2014**
*Initiated the setting of management system** at properties globally.
*Initiated plans for formal operations and PCB facilities globally.
- 2015**
*Hilton Singapore became the first hotel in Asia to serve sustainable seafood.
**Hilton became the first global Hospitality company to serve ASC certified seafood at properties across 51+ hotels.

HOW WILL WE ACHIEVE THIS?

- Train our Teams + Involve our Guests**
Train our teams in responsible seafood sourcing. Involve our guests in our seafood commitment.
- Deepen Partnerships with NGOs and Suppliers**
Continue to collaborate with WWF as the responsible sourcing of seafood. Continue to work with companies like Aquanote who are committed to sustainable seafood.
- Report Against Goals**
Measure and update our seafood progress over time.

GET INVOLVED NOW!
Learn more, share our seafood commitment with others and practice responsible seafood sourcing at home.
www.worldwildlife.org/industries/sustainable-seafood | www.cr.hiltonworldwide.com/

Hilton

Support: World Wildlife Fund (WWF), Aquanote, Sustainable Seafood, and the Aquaculture Stewardship Council (ASC).
* Species names mentioned in this report are not intended to be exhaustive.
** Official method by WWF, managed and controlled from MSC.
† Endangered species as identified by WWF, which include 22% of species and 28% of commercial sea fish species.
** Environmental data as of 2015.

HILTON



帝国ホテル

海のエコラベル
持続可能な漁業で獲られた水産物

MSC 認証
www.msc.org/jp

責任ある養殖により生産された水産物

asc 認証
ASC-AQUA.ORG

イオン

MSC 認証
2006年より開始。
持続可能な漁業で獲られた水産物(天然魚)

海のエコラベル
持続可能な漁業で獲られた水産物
MSC 認証
www.msc.org/jp

トップバリュグリーンアイ MSC認証 塩紅鮭

ASC 認証
2014年より開始。
責任ある養殖により生産された水産物(養殖魚)

責任ある養殖により生産された水産物
asc 認証
ASC-AQUA.ORG

トップバリュグリーンアイ ASC認証 生アトランティックサーモン

完全養殖
2015年より開始。
天然の卵や稚魚に頼らず、養殖の親魚が産卵した卵から成魚へ成長させる(養殖魚)

トップバリュグリーンアイ 奄美うまれ生本まぐろ

地域経済の活性化に向けた仕組みづくり

【神恵内村の新たな地域経済循環の仕組み】

【トレンド】 国際環境の変化、気候変動・自然災害、感染症、人口減少・少子高齢化、技術進展（Society5.0）、インフラ等の老朽化、暮らし・働き方等の変化等

【村外】

海外市場

国内市場

企業等

売上 投資

【神恵内村】

基盤産業

水産業・観光業
(新たな産業創出も)

税

所得

村民

税

消費

非基盤産業

商業・サービス業
(新たな産業創出も)

税

所得

公共サービス

- 国内や海外との取引、越境ECの展開。
- 国内外からの投資の呼込
- 技術のパッケージの展開（販売）。

地産

VISON

顧客を生涯顧客化する仕組みづくり

【事業開発】
プロダクトデザイン
モノ・コトづくり



顧客とつながるモノ・コトづくり

1 **インキュベーション**

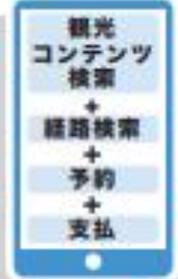
商品・サービス等販売物の開発
コンテンツ供給 ↑ データ活用 ↓

ハードリピーター
**生涯顧客とつながる
ための3つの機能**

地域(住民)と市場(顧客)が
3K(キモチ・キズナ・キロク)で
つながり続ける
持続可能な関係づくり

観光+MaaS

観光コンテンツ情報+システム
予約・事前決済・利用データ



顧客を受け入れる場づくり

3 **DMO**

域内周遊・交流サービス等観光基盤の構築

地域住民からの愛着



顧客に伝える場づくり

2 **地域商社**

商流の開拓および域外PR

外消

都市圏

海外

地域の魅力を伝える商品の販売

【商流開発】
コマースデザイン

地引

域内マーケット & 参加地域事業者

域外マーケット & ターゲット (生涯顧客対象者)

地域の子供たちが

「この仕事をしたい！」

と思うこと





Thank you for listening.
Eiji Otsuka